

## ☆創立54周年記念式典社長挨拶骨子☆

創立54周年おめでとうございます。

祝日にもかかわらず多数ご列席賜りありがとうございます。また、今年もたくさんの方を表彰できることとなりました。返す返すお礼申し上げます。



さて、今回も笑顔のオープニングで始まりました。

皆の協力もあり今回はますますパワーアップし561人の笑顔を見ることができました。オープニングの笑顔を見る度に皆様への感謝の気持ちが高まり、感無量になります。日頃のご協力、誠にありがとうございます。

今回もたくさんの方を表彰できることになりました。今回は特にやっとグループ会社からのCS賞の推薦もありましたし、QC活動も参加が10チームに及びました。あらためてお礼申し上げます。

さて、昨今の経済状況も皆さんにお伝えしなければなりません。ちまたでは、「100年に1度の不況」と言われています。私は、「100年に一度の変化」ではないかと思っています。それはどういう事かと申し上げますと、日本社会の大きな構造変化であります。この数年、日本では、260万人の団塊の世代と呼ばれる人たちが社会から引退しました。その反面、新しく社会にデビューする人たちは、半分以下の120万人ほどであります。これは何を意味するかと申し上げますと、全てが縮小していく社会に突入したという事です。レストランもスーパーも自動車も・・・これからの世の中、前年比マイナスの世界になっていくのです。

こんな状況ですが、乗り切る方法はないわけではありません。

それは、市場から去っていくのは、「悪い」会社からいなくなるという事です。全てが平等に悪くなるのではなく、評価でいうと「普通」以下の会社がまず淘汰されます。「良い」会社がいなくなるのは最後であります。

では、「良い」会社になるにはどうすれば良いか？

それは、この字が小さくて読みにくい「クレド」に詰まっています。

形のないサービスを売り物にしている当社にとって皆様から「ありがとう」と言われるサービスを頂戴する事は、大変重要なテーマです。

皆さんは、金ピカの市役所の窓口で愛想の悪い愚図な対応されるのと、オンボロな市役所で笑顔で丁寧な対応されるのは、どちらがうれしいですか？

大半の人は、笑顔の対応を求めるのではないのでしょうか？我々の仕事にとって、任務を行なう事と同様、「笑顔」や「早い」対応は、大変重要な部分なのであります。

そして、いまだ多くの同業者が実現できていない事なのであります。

クレドに書いてあるように「楽しそうに行なう価値」、「笑顔で行なう価値」、「カッコの良い姿勢で行なう価値」に気づいた皆さんが、その通り行なっていたただけるだけで、そしてそれが全員で行なっていたただければ、当社は、この業界のNO. 1になっていくと確信しております。



来年は、語呂の良い55年になります。

是非、来年、また今日のような自信に満ち溢れた皆さんにお会いでき、皆さんも、お客様も、会社も、地域もすばらしい成長があります事を祈願して挨拶いたします。